

皆様、こんにちは。ようこそこの総会へいらっしゃいました。市長が到着次第、彼にご挨拶を頂きますが、それまで、ウルソ副大臣、日本大使、日本政府代表の方々、日伊ビジネスグループの会長として皆様を歓迎いたします。そしてメンバーの皆様、私のスタッフにはこの総会開催の準備に当たり、厚くお礼申し上げます。

私達は今ローマで最も美しいホールの一つにいるわけですが、日本側会長である三菱重工の佃会長のご参加、そして数多くの日本の企業家の皆様にもご参加頂き感謝を申し上げたいと思います。

そして最後となりますが、日本の友人の方々に特別な感謝を申し上げるとともに、一つ歴史的出来事の話で開会に臨みたいと思います。90年程前、正確には1920年5月にアルトゥーロ・フェッラリン率いる数人の勇敢な飛行士達が世界で初めてヨーロッパから日本への飛行に成功し、まさにこのローマから出発したのです。この飛行機は当時アンサルド社によって建設されたものでしたが、ここは数年後にフィンメッカニカに入ります。3ヶ月かかった冒険に満ちた17000キロに及ぶ飛行後、東京に到着したわけですが、この素晴らしい出来事をぜひとも皆様に思い起こして欲しかったのです。イタリアはそこで初めて日本の扉を開き、両国の長い友好関係の第一歩が踏み出されたのです。おそらくその延長として私達もこうしてここにいるわけで、共通点の多い長い両国の歴史の中でさらなる親近感と協力関係を拡張していこうとしているわけです。

もうちょっと近代の話に移しましょう。前回の総会后、日伊ビジネスグループは様々なミッション活動を積極的に行ってきました。特に、二国間分科会はいくつかの重要な革新的工業分野における協力関係を強化させるために活動してきました。エネルギー、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、IT、ライフサイエンスの分野ですが、例えばエネルギー・グリーンパワーとシャープは再生可能エネルギー分野、イージオスと日本スペースイメージングの地球観察においてです。また、地域間の活動も活発に行われました。ピエモンテ州と宮城県、ヴェネト州と富山県、ローマ大学と東北大学のロボット工学分野のプロジェクトもあります。

私のスピーチの最後に、文化について話したいと思います。文化とテクノロジーというのは、イタリアと日本のような長い歴史と伝統を持つ国の間の真の重要な架け橋となると確信しております。その証拠として、2009年の日伊ビジネスグループの協力関係によるジャパンフォーカスと昨晚始まった第5回ローマ映画祭開催からもおわかり頂けるでしょう。この機に安藤大使とペトローネ大使へ改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。

少し経済、そして実質的な数字の話もしたいと思います。具体的な数字によって我々がどこから来て、どこへ到達しようとしているのかが理解いただけるとと思います。投資、貿易、商業交流においては、2009年度はイタリアから対日本の直接投資は6億9400万ドル、日本から対イタリアは11億ドルでした。輸出先としては、日本はイタリアにおいて18位で0.92%を占めており、日本からイタリアではイタリアは25位で、0.83%となっています。商業交流では、2009年も同じような傾向で、ただ、2010年度においては国際的な不況にもかかわらず、増加傾向が見られています。

まだまだ道のりは長いと思いますが、相互的にこの関係には満足しているといえるでしょう。しかしまだ多大な可能性を秘めており、多くのチャンスを発掘できるでしょう。日伊ビジネスグループ

は従って、この産業共同体における中心的ドライバとなって、特にビジネスが停滞している分野においてはこの二国間関係を改善していかなければなりません。

来年予定されているイニシアチブとしては、フラッグシップ・イニシアチブと呼びたいものがあります。これは様々な機関や企業などと協力して、欧州と日本の経済統合に関する合意をサポートすることです。また、特にイノベーション度の高い分野に焦点を当てていき、研究開発活動も振興していきたいと思います。また、重要なツールとしては特にアドホックな金融ツールを利用し、二国間の協力関係を築き上げたい中小企業などを支援していくことです。

他にも分科会の活動も応援し、二国間の関係を強化して欲しいと思います。それに我々の友好関係に大きな役割を果たすであろう、人材資源発展の推進にも尽力を惜しみません。イタリアおよび日本の大学やその他の教育機関の講師、研究者、学生達の交流を通してさらなる発展を望みます。

このように来年のためにはまだまだやるべきことがたくさんありますが、今日のこの総会で行われる発表から様々な考察が生まれ、これからの我々の活動に役立つことでしょう。今日のこの総会が我々の協力関係の再出発点となり、日本側会長の佃氏とともに歩んでいきたいと思います。

ありがとうございました。